

小型焼却炉「チリメーサー」 株式会社トマス技術研究所 インドネシア・バリ島で実証活動開始！

国際協力機構(JICA)は、8月30日、インドネシア・バリ島での医療廃棄物の適正管理方法の課題解決に向け、沖縄県の株式会社トマス技術研究所と業務委託契約を締結し、「インドネシア国島嶼地域における環境に配慮した小型焼却炉の普及・実証事業」に伴う第1回目の現地調査を実施します。

2016年9月3日(土)から17日間の日程にて、首都ジャカルタとバリ島において、関係省庁との打合せ、デンパサール市の Sanglah 病院をはじめとする10か所の病院における「チリメーサー」導入のための情報収集調査、実証活動の実施場所である Wangaya 市立総合病院の医療廃棄物焼却炉を「チリメーサー」に置き換えるための準備活動、等を実施します。(日程：裏面参照)

インドネシアでは急速な人口増加と経済成長に伴い、廃棄物問題が深刻化しています。特に、危険性有害廃棄物である医療廃棄物は感染症の蔓延等のリスクが指摘されており、同国内の病院から排出される医療廃棄物の嚴重な適正管理が急務となっています。

小型焼却炉「チリメーサー」は、同社が産学官連携(琉球大学、沖縄県工業技術センター)にて開発した小型焼却炉であり、その特徴として①煙を出さない焼却炉、②完全自動運転、③有害物質の排出抑制、④簡単設置が挙げられます。沖縄県内でも納入・稼働実績を有する本製品がインドネシア国内において普及することにより、同国が抱える廃棄物問題の解決に寄与することが期待されています。

今回採択された提案事業は、同社が開発した無煙・超低ダイオキシン・低コスト型の小型焼却炉「チリメーサー」を、インドネシア・バリ島テンパサール市の中央総合病院である Wangaya 市立総合病院へ導入することにより、医療廃棄物の適正管理方法を検証しつつ小型焼却炉の現地適合性を高めるものです。同時に、医療廃棄物処理は、収集や管理、投

入、焼却、灰処理と一連のフローで繋がっており、これら全体を安全かつ最適化する上では、単に機械を設置するだけでなく全体工程の改善が必要となるため、提案製品の適切な管理方法を考案し、運用に活かすことも今回の実証活動の一つとしています。



小型焼却炉「チリメーサー」
(写真: ㈱トマス技術研究所提供)



小型焼却炉「チリメーサー」設置イメージ図 (写真: ㈱トマス技術研究所提供)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援事業課 浅田 (案件担当)

TEL 03-5226-6333 E-mail: Asada.Emi@jica.go.jp

JICA 沖縄国際センター 照屋、尾藤 (民間連携担当)

TEL 098-876-6000 E-mail: jicaaic-psp@jica.go.jp

<実証活動日程>

日時	内容	場所
9/3～9/19	<p>●インドネシア関係省庁訪問 (技術評価応用庁、環境省・局、保健省・局、デンパサール市美化局、JICA インドネシア事務所)</p> <p>●情報収集調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sanglah 病院(デンパサール市) ・Badung 病院(バドゥン県) ・Klungkung 病院(クルンクン県) ・Sanjiwani 病院(ギャニール県) 	<p>ジャカルタ・バリ島</p> <p>バリ島</p>

日時	内容	場所
9/3～9/19	<ul style="list-style-type: none">・Karangasem 病院(カランガスム県)・Bangli 病院(バンリ県)・Singaraja 病院(ブレレン県)・Negara 病院(ジュンブラナ県)・Tabanan 病院(タバナン県)	バリ島
	<ul style="list-style-type: none">●「チリメーサー」設置・運用準備 Wangaya 市立総合病院	バリ島